



5月22日（金）、りんご組。6月2日（火）ひまわり組とすみれ組で「なかよしデー」をしました。

「なかよしデー」では、自分自身を大切にするとともに、自分のことだけではなく、周りの友だちにも目を向け、相手の気持ちに気づいたり考えたりすることができるようになってほしいと願い、取り組んでいます。毎日の生活やあそびの中で、さまざまなことを感じ、経験して、人との心地よい関係を学びながら、少しずつ成長している子どもたちですが、成長に合わせて、また新たな課題を経験しています。普段の生活の中でも、友だちとの関わり方について「これってどうかなあ？」と思ったことは、子どもたちと話し合ったり、考えたりしています。今回は実際の生活の中で見られた事例を職員劇で子どもたちは客観的に見て、登場人物の気持ちについてみんなで考えました。

3歳児 友だちと一緒に遊ぶって、楽しいね。伝えるともっと楽しいね。

りんご組で友だちとあそんでいるAちゃん（職員）とBちゃん（職員）。「一緒にあそぼう！」「何してあそぶ？」とAちゃんが積み木を出し始めました。「わあ！楽しそう」とBちゃんは、Aちゃんの積み木を取ってしまいます。「楽しいね」とBちゃんは、次々と積み木を取っていきます。Aちゃんは、泣いています。

この場面を子どもたちと考えました。「Aちゃん、かわいそう」「かしてあげたらいい」「かしてって言ったらい」と子どもたちからのつぶやきで考えました。Bちゃんは、気づいていませんでした。楽しいからおもちゃを取っていたけど、友だちとあそぶ

ことで「かして」のことは伝えることの大切な意味を知りました。相手の思いに気づいていくことを考え「かして」を伝えることで友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じ嬉しい気持ちになることを話しました。



さまざまな生活経験の中で他者の思いに触れる機会がありますが伝わりにくいこともあります。今回、劇を通して子どもたちなりに自分の考えを伝えたり友だちの思いに気付いたり、思いを行動に移すことができればいいなと願い取り組みました。これからも「なかよしデー」だけでなく、日々の生活の中でいろいろなことに気づき考えていける機会をもち、一人ひとりが大切にされている実感をもてるような取り組みをしていきたいと思っています。子どもは身近にいる大人の影響を大きく受けます。私たち大人の声掛けや行動も大切にしていきたいですね。

4歳児 「わたしじゃないんだけどなあ・・・」

Aちゃん（職員）が積み木をしてあそんでいたのですが、自分で崩して違う遊びに行ってしまった。そこへ、Bちゃん（職員）がやってきて「あっ、これCちゃん（職員）が壊したんちがう？」と言いました。Cちゃんはとっても悲しそうな表情です。さて、そこで子どもたちに問いかけてみました。「今の見てみんなはどうおもった？」「壊したんはAちゃんやった！」「Cちゃんはどんな顔してる？どんな気持ちかな？」「嫌な気持ち」「悲しい顔してた」と話していたひまわり組でした。「Bちゃんは見てなかったのに、Cちゃんが壊したと言うのは『きめつけ』っていうんだよ。」「でも、みんなはAちゃんがしたって言ってくれたよね。もし、クラスでも同じようなことがあったら、それはちがうよって

言えるといいね」という話をしました。

「見てないのに（Cちゃんがやったって）言ったらかわいそう」

「（そんな場面になったら）ちゃんと言える」と話す子どもたちでしたよ。

子どもたちの中に、いろいろな気づきがあったようです。



5歳児 「一緒にあそぼう！」

Bちゃん（職員）がAちゃん（職員）に「いっしょにあそぼう！Dくん（職員）はいれんとこーな！Dくんとはあそんだらあかんで」と言いました。Aちゃんは少し困ったような悲しいような表情をしています。この場面を見て、「そなんんいったらあかん」「一緒にあそんだらいいのに」という子どもたち。まずは、みんなで登場人物のそれぞれの気持ちを考えました。「Aちゃん悲しい顔してた」「Dくんかわいそう」と意見が出ました。「Aちゃんはどうやった？」という質問には「泣きそうな顔してた」「悲しい顔してた」「じゃあ、Aちゃんはなんで何も言わなかったんだろう？」「言えなかったんちゃう？」「じゃあ、Bちゃんはどんな気持ちなんだろう？」「意地悪やった」「どうしてもBちゃんといっしょにあそびたかったんちゃう？」「Dくんはどんな気持ち？」「そなんん言われたら悲しい」「一緒にあそびたいのに」というふうに話を掘り下げていきました。

Bちゃんの言ったことは意地悪だったかもしれないけれど、Bちゃんにも思いがあることを考えた後に『そこで周りの友だちはどう思ったのか』話をしました。話し合った後、同じ場面を再現し子どもたちは、周りの友だち役になって登場しロールプレイをしました。「それはおかしい」「Dくんが嫌な気持ち」「なんでそなんん言うの。言われたらいややろ」と必死に言ってました。Bちゃんは、自分とだけ遊んでほしかったようですが、友だちを傷つけてしまう言葉を言ってしまったことに気づきました。互いの思いを考え自分の思いや相手の思いについて考えました。

